

# 名家連ニュース

平成 28 年 7 月 8 日 (金)  
発行：特定非営利活動法人  
名古屋市精神障害者家族会連合会  
会長 堀田 明  
TEL/FAX(052)846-5576 NO.413号

## 名家連学習会「第 10 回連続講座最終回」

### 親亡き後の不安、元気である今、何をしたらいいかー2

7月3日(日)、第10回「統合失調症連続講座」を鈴木医師+PSWの砂田氏、大村氏、藤原氏の4人を講師に招いて大同健保会館で開催しました。今回は最終回という事もあって13時30分から16時40分まで時間を延長して行われました。受講者は93名でした。講座は、医師からだけでなくPSWから家族が元気なうちに、そして一人となってから利用できる制度(社会資源)について、資料と共にお話し下さいました。その後の質疑応答で、鈴木先生には



★先生の診察スタイルは？ ★3分診療ですか？ ★男性・女性について？ ★精神科特例について？  
3人のPSWには ★就労について ★グループホームの利用について ★認知行動療法について ★生活保護について ★隣近所へ状況を報告したらよいのか ★サービス利用について…等の質問が出されました。先生はありのままを、PSWからはクリニックでの実例などを含めて説明して頂きました。

その後、先生から一年間の感謝の言葉があり、続いて受講生を代表して昭和家族会の山下さんから感謝の言葉を添えて花束の贈呈をしていただきました。最後に家族会を代表して堀田会長からお礼の挨拶があり、昨年9月から開催してきた連続講座が和やかな雰囲気の中で修了することができました。

## 名古屋市との懇談会開催

7月4日(月)、名古屋市健康福祉局障害福祉部杉原主幹、障害企画課精神保健福祉杉浦係長が名家連事務所まで足を運んでいただき名家連役員(会長・副会長など理事8名)と第18回総会事業計画の名古屋市への要望事項について忌憚のない意見交換を行いました。名古屋市からは



○16区の保健所で相談員が1人しかいないのは残り5区であり、世代交代が進み10年程の人が一番古い状況にあることや以前のように訪問が出来ないのは、事務量が増えて余裕がなくなっていること

○「移送」や「緊急」時の365日、24時間対応などの支援体制については、愛知県との関係も含めて(やっていく方向で)考えていること

○地域生活支援拠点に「家族を対象とした一時避難所及び短期入所機能を検討する」ことについては、7月2日の夏刈先生の講演を聞いて少し考えが変わったこと

○障害者手当(扶助料)の支給、自立支援医療費(精神通院)の無料化、3級手帳所持者への助成制度適用については他障害との関係もあること…など、ありのままの現状が示されました。(文責：堀田)

## 名家連代表者会議の案内

7月16日(土)午後1時30分～ 家族相談室

懇談会の詳細報告と共に代表者相互の交流を計画していますので万障繰り合わせのうえご参加下さい。